

投資事業評価調書（新規）

部課室名	農林水産部 農林水産局農村環境課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	課長 村上 主直 (地域整備係長 中野光雄)	内線	3931 (3946)
------	---------------------	-------------------------	-------------------------------	----	--------------------

事業種目	中山間総合整備	事業名	事業区間	総事業費	4.9億円	
		中山間地域総合整備事業	佐用地区	内用地補償費	30万円	
所在地				事業採択 予定年度	着工予定 年度	完成予定 年度
佐用郡佐用町				H18	H18	H22

事業目的	事業内容
<p>中山間地域の果たしている食料供給機能や保養休養など多面的機能を保全し、定住を促進するため、農業生産基盤・生活環境基盤の整備を早急に進めるとともに、地域住民の活性化への取り組みを支援する。</p> <p>佐用郡佐用町：山村振興指定，特定農山村指定 過疎地域指定 事業主体：佐用町</p>	<p>1. 農業生産基盤 (用排水路改修 3箇所 L=1.6Km) (国55% 県14% 町23% 地元8%) (農道舗装 27路線 L=11.0Km) (国55% 県14% 町23% 地元8%)</p> <p>2. 農村生活環境基盤 (市民農園 1箇所 A=0.2ha) (国55% 県2% 町43% 地元0%) (獣害防止柵 L=32.3Km) (国55% 県6% 町19% 地元20%)</p>

評価視点	評価結果の説明
(1) 必要性	<p>佐用町では、健康な土と清浄な水によって町の基幹産業である農業の振興を図るとともに、自然環境との調和を図った生活環境の創造、都市との共生を踏まえた地域コミュニティの形成を推進している。</p> <p>一方、過疎化、高齢化の進行等により地域活力の低下が懸念されている。地域農業の活性化に向け、未舗装農道の整備、老朽化した用排水路の整備、都市住民との交流の場として市民農園の開設等を行っていく必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 老朽化した用排水路 多大な維持管理労力 用排水路の改修 ・ 未舗装の農道 荷傷みによる品質低下、多大な走行経費 農道の整備 ・ 都市住民のニーズ 交流施設等の不足 市民農園の新設
(2) 有効性・効率性	<p>事業の実施により、主に下記の効果が期待できる。</p> <p>用排水路改修による維持管理費用の節減 農道舗装による農産物の荷痛み防止、維持管理費の節減 市民農園開設による地域の活性化 ふるさとむら会員等(計画区画数：23区画) 獣害防止柵設置による農作物被害、駆除人件費等の節減</p> <p>○費用便益比(全体) B/C=1.41</p>
(3) 環境適合性	<p>平福地区の用排水路については、佐用町歴史的環境保存条例の趣旨に沿い景観に配慮した整備を行う、また、サワガニ等の小動物生育に配慮した水路構造で整備を行う。</p> <p>獣害防止柵については、一部の区間に間伐材(県産材)を使用し景観に配慮する。</p> <p>また、市民農園の建築材料の一部に県産材を使用し、森林資源の有効活用を図る。</p>
(4) 優先性	<p>佐用町では、佐用インターを中心とする交通アクセス活かした都市との交流や多様な消費者ニーズに対応した他品目生産、観光型農業等の取り組みにより、農業振興を図ることにしており、そのためにも、未舗装農道の整備、老朽化した用排水路の整備を早急に実施する必要がある。</p> <p>また、獣害被害は農家の生産意欲を減退させており、早急に獣害防止柵を設置する必要がある。</p>